

米原市議会 12月議会始まる

米原市民報 No.402

2013年12月8日 日本共産党米原市議団
清水隆徳TEL52-1969 藤田正雄TEL55-1128
太田幸代 TEL54-2286

「消費税増税中止」「秘密保護法廃案」意見書、「TPP交渉撤退」請願趣旨説明

緊迫する「秘密保護法案意見書」不当にも委員会審査に

【米原市議会第4回定例会（12月議会）日程】

- ◆ 12月4日（水）10時から
 本会議 議案の提案説明他
- ◆ 12月9日（月） 一般質問
- ◆ 12月10日（火） 一般質問
- ◆ 12月12日（木） 総務教育常任委員会
- ◆ 12月13日（金） 健康福祉常任委員会
- ◆ 12月16日（火） 産業建設常任委員会
- ◆ 12月19日（木） 環境事業特別委員会
- ◆ 12月20日（金） 10時45分から
 本会議 議案の採決他

☆一般質問・委員会はいずれも9時30分開会

☆ 日本共産党米原市議団3名の一般質問の

日程（予定）については以下のとおりです。

- 清水議員 9日 午前2番目（午前10時ごろ）
- 藤田議員 9日 午前3番目（午前11時ごろ）
- 太田議員 10日 午後3番目（午後2時ごろ）



庁舎等整備検討委員会条例についての総括質疑

第1に米原市庁舎等の在り方市民委員会の提言書の集約は「執務機能及び庁舎は1か所に集約」、「市民自治センターの市民サービス機能は最低4か所、ただし旧庁舎は別に有効活用する」、「行政サービスセンターは段階的に減らす」と市民生活に大きく影響する内容が提言されています。今回の検討委員会はこの提言書に拘束されるのですか。

第2に私たちが行ったアンケートでも今の4分庁舎方式が一番高い（4庁舎のまま51%・2庁舎16%・1庁舎に統合20%）のですが、提言書と市民の意識のズレについてどう考えておられますか。

第3に多くの合併をした市の周辺地域が庁舎の廃止によって疲弊していることはまぎれもない事実です。このような議論も検討委員会の対象となるのですか。

第4に合併時の「新市まちづくり計画」や財源問題などクリアすべき問題があると考えます。検討委員会を設置して、既成事実でもってなし崩し的に推し進めることは、すべきでないと考えますが、市長の答弁を求めます。

初日・本会議において総括質疑・意見書2件・請願での発言
4日、本会議が開催され、25件の議案が当局より提案されました。また共産党議員団より2件の意見書、1件の請願が提出されました。消費税増税中止については太田議員が、秘密保護法廃案については藤田議員が初めて議場で発言しました。農民連提出のTPP撤退の請願は、清水議員が趣旨説明しました。秘密保護法意見書の取り扱いで議会運営委員会は、臨時国会最終日が迫っていることから、本会議での即日採決をとの意見に、不当にも委員会付託としました。また藤田議員の行った庁舎等整備検討委員会条例での総括質疑の要旨については次のとおりです。

平成25年第4回定例会（12月議会）は、12月4日に開会されました。一般質問では本共産党米原市議団は、消費税と市財政、給食問題（以上清水）、国保税の引き下げ、自治会要望（以上藤田）、小中学校のクーラー・トイレ問題、醒井駅エレベーター、夏休みプールのバス利用（以上太田）について質問します。日程は左記のとおりです。